

### 3 緑と水に関するアンケート調査概要

#### (1) 調査概要

##### ①調査対象者及び抽出方法

- 調査対象：福生市在住の20歳以上の市民（基本台帳から無作為抽出）
- 標本数：1,000人
- 調査方法：郵送配布、郵送回収
- 実施期間：平成24年12月17日～平成25年1月15日

##### ②回収結果

- 標本数：1,000人
- 有効回収数：326人
- 有効回収率：32.6%

#### (2) 集計にあたっての留意事項

アンケート調査を無作為に抽出して行う場合、その統計数値には誤差があり、それは次の公式によって算出されます。

標本誤差とは、ある設問の回答割合に対する誤差を示しています。

<b>【標本比率の標準誤差の算出式】</b> $\sigma = k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$	$M$ ：母集団
	$n$ ：有効回答数
	$p$ ：結果の比率
	$k$ ：信頼率（95%）による定数
	$\sigma$ ：標本誤差

今回の実際の質問にあてはめてみると、例えば「日ごろ、あなたが接したり目にふれたりする緑には満足していますか？」という質問に答えた方は326人（=有効回答数  $n$ ）であり、そのうち8.3%（結果の比率  $p$ ）の人が「大いに満足している」と答えました。

今回の調査対象は、49,490人（平成24年12月1日の20歳以上の人口）であるため、上記式に入れると±3.0%が誤差の範囲となります。従って「大いに満足している」の方の真の値は、8.3%±3.0%=5.3%～11.3%の間であると考えられます。

表 各回答比率における標本誤差早見表

回答比率	10%または90%	20%または80%	30%または70%	40%または60%	50%
標本誤差	±3.3	±4.3	±5.0	±5.3	±5.4